

就任にあたって

～遠藤公営企業管理者から～

4月1日付けで公営企業管理者に就任いたしました遠藤信哉でございます。

この3月まで土木部長を4年間努めさせていただき、東日本大震災からの復旧・復興に全力で取り組んでまいりました。企業局においては、復旧・復興が順調に進み、水道施設の耐震化や送水管路のバックアップ体制構築のための工事も順調に進んでおります。しかしながら本県の震災からの復興はまだ道半ばでありますことから、企業局としても、ふるさと宮城の再生と発展のため、創造的復興の一翼を担ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



遠藤 信哉 公営企業管理者

さて、企業局の業務には、水道用水及び工業用水の水道事業と企業局が保有する資産の売却・貸付などを行う地域整備事業の二つの柱があります。

その内、水道用水供給事業及び工業用水道事業については、「水道事業経営管理戦略プラン」に掲げる事業や工業用水道事業の経営改革を着実に進めるとともに、給水収益が減少する一方で送水管等の更新需要が増大するなど厳しさを増す経営環境においても持続可能な水道経営を確立するため、平成31年度に企業局への移管が検討されている流域下水道事業を加え、村井知事が一丁目一番地に掲げております民の力を最大限活用した「上工下水一体官民連携運営」（みやぎ型管理運営方式）の構築に向けた検討を進めてまいります。

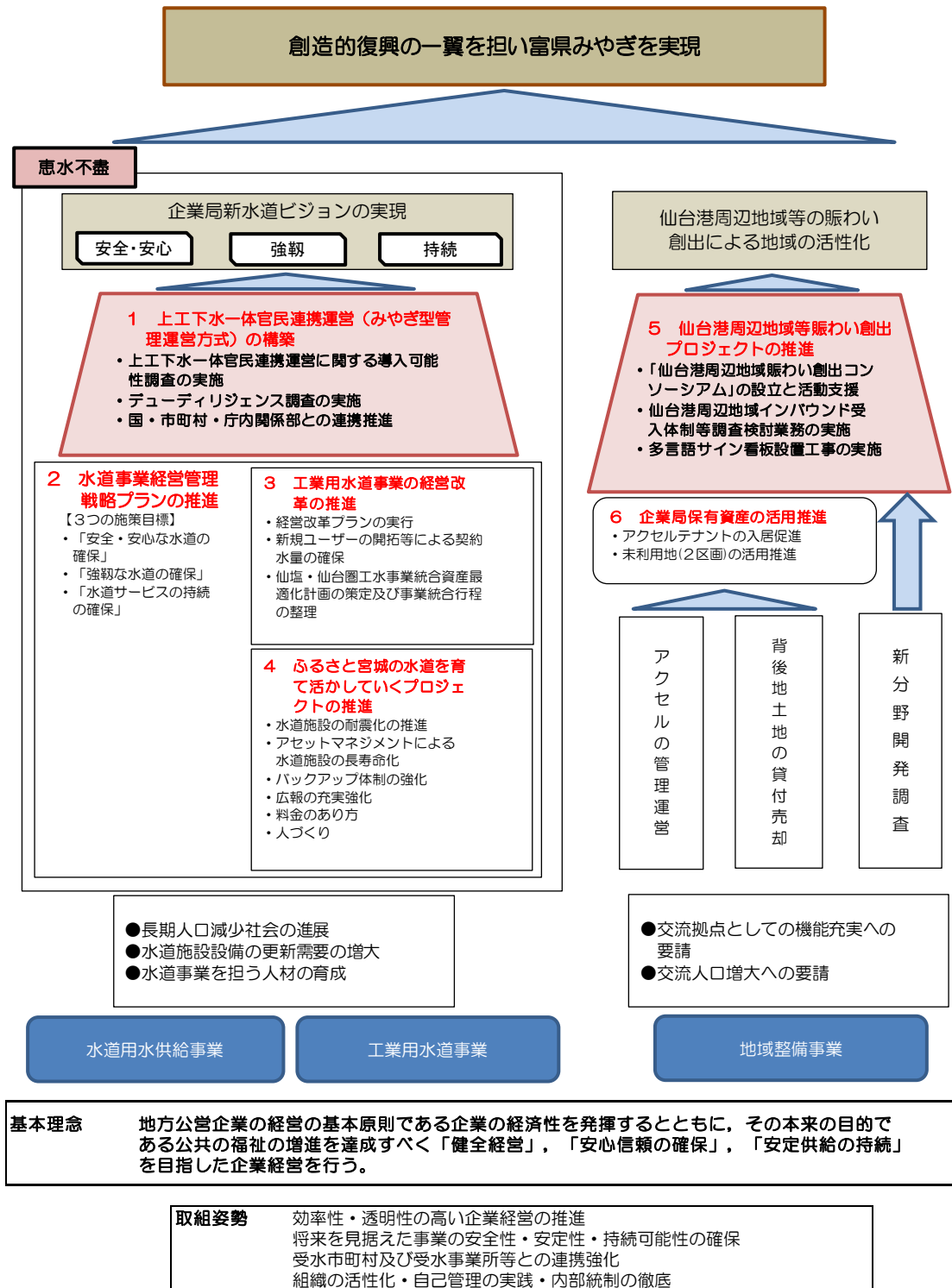
そのための取組として、今年度は、導入可能性等調査及びデューデリジェンス調査（資産調査）を実施してまいります。

この検討を行う上では、関係する国の機関や民間事業者はもとより、関係市町村やユーザー及び庁内関係部局との密接な連携が不可欠であることから、早急に連携体制を構築してまいります。

また、地域整備事業については、仙台港の開港以来、常にその発展に深く関わってきた企業局として、商業施設や水族館などの進出により来訪者が増加している仙台港エリアの賑わいをより確かなものにするため、4月12日に設立された「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」の活動を支援するなど引き続き官民が連携した取組を進めるほか、外国人観光客の誘客方策の調査検討やアクセル（仙台港ビジネスサポートセンター）への入居促進を図ります。

この業務につきましても、仙台塩釜港の管理を担当する土木部をはじめ、観光振興を担当する経済商工観光部との連携が不可欠であることから、県庁内部における連携体制を早急に構築してまいります。

むすびに、地方公営企業の経営の基本原則であります企業としての経済性を発揮するとともにその本来の目的である公共の福祉を増進するため、「健全経営」、「安心・信頼の確保」、「安定供給」を目指した企業経営に誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



基本理念 地方公営企業の経営の基本原則である企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉の増進を達成すべく「健全経営」、「安心信頼の確保」、「安定供給の持続」を目指した企業経営を行う。

取組姿勢 効率性・透明性の高い企業経営の推進
 将来を見据えた事業の安全性・安定性・持続可能性の確保
 受水市町村及び受水事業所等との連携強化
 組織の活性化・自己管理の実践・内部統制の徹底

※ 赤字が平成29年度の重点事項である。

【編集担当・お問い合わせ先】 公営事業課 企画調整班
 電話 022-211-3414
 E-mail : kigyo@pref.miyagi.lg.jp
 【企業局の情報はこちら】
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/16.html>
 【メビウスのバックナンバーはこちら】
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suido-kanri/mebiusu.html>